

## ATAカルネの使用に関する英文委任状（例文）

- カルネ名義人が法人の場合は「We」で始め「I/」及び「my/」を削除  
個人の場合は「I」で始め「/We」及び「/our」を削除
- 通関回数分の枚数をカルネ原本に添付、もしくはカルネ使用者が携帯し通関のつど税関に提示

To whom it may concern:

I/We, <sup>※1</sup>英文カルネ名義人名、及び住所 hereby appoint <sup>※2</sup>使用者氏名  
to be my/our agent for the purpose of dealing with and signing  
ATA carnet No. <sup>※3</sup>JP/ から始まるカルネの番号 issued by the Japan Commercial  
Arbitration Association on behalf of the Japan Chamber of Commerce & Industry,  
and to deliver to Customs any documents required in this connection.

Date: <sup>※4</sup>委任状作成日（カルネ発給日以降の年月日）

Signature of ATA Carnet Holder: <sup>※5</sup>カルネの表紙の署名と一致させること

- ※1 カルネ表紙 A欄：HOLDER AND ADDRESSの記載に揃える
- ※2 カルネ通関（携帯）→委任したい個人のパスポート表記英文氏名  
（別送）→委任したい通関業者の英文社名  
輸入者 →委任したい輸入者名を英文表記（法人または個人）
- ※3 カルネ表紙 右上G. a)欄 CARNET No. JP/\_\_\_\_\_
- ※4 カルネ発給日以降の年月日 例) 2017/11/11
- ※5 委任状の署名はカルネ表紙 J欄の署名と必ず一致させること